

鉄道ピクトリアル

1962年9月号 Vol.12 No.9



南武線津田山—久地間の電車衝突現場
37.8.7 共同通信提供

今月の話題

南武線でまたもや電車 二重衝突事故

37年8月7日、17時14分頃南武線津田山—久地間第4種無名踏切で、下り第1625電車（川崎発登戸行）4両編成（先頭からクハ16000+モハ11513+クハ16826+クモハ11433）が時速約50キロで運転中、進行左側から踏切内に進入した小型トラックと衝突し第1両目が上り線を支障して脱線・傾斜した直後、上り第1742電車（登戸発川崎行）4両編成（先頭からクハ16423+モハ10062+サハ17115+クモハ11218）が時速約43キロで運転してきて、脱線車を約30m手前で発見、非常ブレーキをかけたが及ばず、下り第1625電車の1両目は横転大破、2両目は大破し、上り第1742電車の1両目は前2軸が脱線大破、2両目は中破し、このため両電車の乗客などに死者3名、負傷197名計200名を生ずる大惨事となった。

原因はトラック運転者が踏切で一旦停止を怠ったためとあるが、時あたかも、三河島事故以来わずかに百日足らずでこの大事故が発生、国鉄総裁の進退問題にまで発展、部内外で三河島事故とはまたちがった反省批判の声があがっている。

今回の事故は、国鉄もいわば被害者の立場で国鉄ばかりも責められまいという説と、踏切総数42,300余のうち85%が無人踏切で1年に死傷2,300人余の踏切事故の8割はこれら無人踏切で起きている、しかも踏切整備5カ年計画で踏切の立体交差を完成するにはあと50年かかるという無責任論とが起きている。

運輸相は高架公園を設けて大都市内の踏切の立体化を10カ年計画で実施することに「踏み切った」というが、その成行きには大きに期待したい。

表紙「地下鉄網の新戦力」

岸 幸男
東京都営地下鉄上り浅草行 5000系
2連 京成電鉄線青砥付近 昭37-7-10

カラー頁「冷房を完備したSE車」

岸 幸男
小田急下り2013レ デハ3000系 (SE
車) 8連 百合ヶ丘付近 昭37-7-14

表紙	「地下鉄網の新戦力」	岸 幸男
カラー頁	「冷房を完備したSE車」	岸 幸男
グラフ		
準急「軽井沢1号」	田部井康修	7
横川電化特報	永井 重道	8
東京の地下鉄網主役	岸 幸男	10
ロープウェイのいろいろ	中川浩一・瀬古龍雄・吉川文夫・ 長野電鉄	12
ある日のD51	木村 敬提供	14
9月の原野	金子 元博	39
111系誕生	国有鉄道提供	40
ある終着駅	高松吉太郎	42
熊本電鉄車両集	谷口良忠・北川亮三・熊本電鉄	44
関西の通勤電車	野口 昭雄	46
新幹線軌道試験車4001	わだいのくるま (119)	71
老兵は消える①	宮崎交通	72
	②山梨交通	73
トピックフォト (関東・中部・関西・九州四国)	宮沢 元和	74
準急用交直電車451系		78

記事

「今月の話題」南武線でまたもや電車二重衝突事故	3
改訂された東京の地下鉄網計画	和久田康雄 4
ロープウェイ物語 (前)	中川 浩一 15
最近登場した世界各国のディーゼル動車	石井 幸孝 19
失われた鉄道・軌道 [1]	山南温泉軌道・益岡梵鐘・川上幸義 23
軌間の制限と特殊鉄道	鉄道法規漫筆④ 和久田康雄 26
国鉄長野工場と長野地区の車両	木村 敬 27
横浜線昨今	吉村 光夫 30
モデル線の試運転に乗って	宮沢 崇躬 33
高崎—横川間電化現地ルポ	永井 重道 36
鉄道の話題	38
熊本電鉄 私鉄車両めぐり (50)	谷口 良忠 47
信濃の鉄道のあゆみ [下]	小林宇一郎 55
こだま西の箱根を越える	宇田 賢吉 60
関西の通勤電車雑観	野口 昭雄 63
質問に答える	66
姿を消した山梨交通電車線	宮沢 元和 67
読者短信	68
7月のメモ帳	70
車両の動き	79
後部車から	80